

広島県中小企業団体中央会 2016年7月分情報連絡一覧表

食料品

●食料品

中国醤油醸造協同組合

7月の出荷量は前月比17.2%減少、前年同月比8.3%減少、売上高は前月比19.1%減少、前年同月比10.7%減少となった。

木材・木製品

●木材・木製品

福山木材協同組合

少し落ち込んでいるが、秋に向けてよくなりそうな感じはある。

広島県木材協同組合連合会

平成28年6月の全国の住宅着工戸数は85,953戸で、前年同月比では2.5%減少、また、季節調整年率換算値では100.4万戸（前月比1.3%減少）となった。利用関係別では、持家は26,944戸で前年同月比1.1%増加、貸家は36,910戸で前年同月比3.7%増加、分譲住宅は21,617戸で前年同月比15.2%減少となった。なお、木造住宅の着工数は47,502戸で、前年同月比2.9%増加となった。

住宅着工の動向は、前年同月比で6ヶ月ぶりの減少となり、引き続き、今後の動向をしっかりと注視する必要がある。

こうした全国の動きに対し、広島県内の6月の着工戸数は1,329戸で前年同月比10.0%の減少、このうち、持家は442戸で前年同月比13.0%の減少、貸家は387戸で前年同月比33.6%の減少、分譲は500戸で前年同月比32.6%の増加となった。県全体の住宅着工の動向は、前年同月比で9ヶ月ぶりの減少となっており、地域別では、広島市は着工戸数589戸で12.1%減少、東広島市は87戸で2.2%減少となる一方、福山市は274戸で45.7%増加、呉市は146戸で18.7%増加、廿日市市は51戸で2.0%増加と地域間でばらつきが見られ、会員によって、売上や収益等に好不調の差があるようであり、今回の消費税率引上げ再延期に際しても、今後の動向をしっかりと注視していく必要がある。

化学・ゴム

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

先月同様、未だ国内の景況感の改善は見られず、自動車業界においても大変厳しい状況が続いている。このまま円高傾向が続けば輸出台数にも影響が出始め、さらなる生産台数の減少につながる可能性があり、経済の先行きに不安感が強まっている。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

売上は、全体的に各社横ばいの傾向にある。

国内消費財市場の動きは、相変わらず低迷感が漂っており、需要の伸びは期待できない。原油安と円高傾向の背景に、原材料の値上げはおそろくないであろうと予想している。

窯業・土石製品

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

出荷状況(24工場)

28年7月 3,202m³ (対前年8.7%増加)

28年6月 3,178m³

27年7月 2,945m³

鉄鋼・金属製品

●鉄鋼業

軋鉄鋼協同組合連合会

1社8月末で後継者がいないため、事業休業の予定である。その一方で、早くから事業を承継し、新体制での取り組みが評価されているのか、メディア等に掲載された事業場もある。

一般機器

●一般機械器具

協同組合三菱広島協力会

広島県西部観音地区においては、コンプレッサ関係、製鉄関係が低操業のため、それに伴い、協力会社各社の操業も低調である。

江波地区においては、航空機の増産体制が整い、それに伴い、協力会社各社の操業の山も高い状況が続いている。

広島県東部機械金属工業協同組合

今月は、官公庁関係の仕事が減少し、新規の設備案件が減少したため、前月比変化なし、前年同月比1.1%減少となった。

電気機器

●電気機械器具

（電気）広島県東部機械金属工業協同組合

今月の売上は、少し生産が停滞気味であるのと、若干受注が増えたため、前月比2%増加、前年同月比1%減少となった。輸出物件が停滞しており、国内はスマートメーター以外は横ばい傾向にある。

最低賃金の上昇が、経営を圧迫している。取引先に価格交渉はしているが、難しいようである。中小企業施策への更なる充実を望む。

輸送用機器

●輸送用機械器具（自動車）

東友会協同組合

7月の国内自動車販売台数は全需が416千台、前年同月比2.2%減少と3ヶ月連続の前年割れとなった。登録車は前年比0.2%減少と4ヶ月振りの前年割れ、軽自動車は6.3%減少と19ヶ月連続の前年割れとなった。

マツダ車は21.4%減少と10ヶ月連続の前年割れとなった。

アメリカの6月の全需は1,514千台で前年同月比2.5%増加と2ヶ月振りの前年超え。マツダ車は同3.8%減少と2ヶ月連続の前年割れとなった。

欧州の6月の全需は1,688千台で、前年同月比4.7%増加と6ヶ月連続の前年超えとなった。マツダ車も同18.9%増加と13ヶ月連続の前年超えとなった。

中国の6月の全需は1,883千台で、前年同月比4.4%増加。マツダ車は15.7%増加と3ヶ月振りの前年超えとなった。

上記各地域の状況下、マツダ車の6月の海外販売合計台数は118千台、前年同月比9.0%増加と3ヶ月連続の前年超えとなった。

マツダの6月の輸出動向については、輸出台数は前年比2.9%減少と3ヶ月振りの前年割れとなった。

マツダの6月の国内生産台数は、前年同月比13.9%減少と2ヶ月連続の前年割れとなった。

●輸送用機械器具（造船）

中国地区造船協議会

県内2,500総トン以上の平成28年7月の船舶建造許可実績は4隻163,799総トン（前月3隻122,700総トン、前年同月3隻132,340総トン）であった。なお、このうち3隻が貨物船で1隻が油槽船となっており、全てが輸出船となっている。

（社）中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化はない。

●輸送用機械器具（造船関連団地）

呉鉄工業団地協同組合

原材料高騰により、収益性が悪化している。

その他

●家具・装備品

広島家具工業協同組合

平成28年から29年春にかけての学習機の展示会がほぼ終了した。

従来の学習機は少なく、無垢天板、無垢感覚のデスクを中心に各社品揃えしている。デスク本体、上置き等は組み合わせがある程度自由にでき、大人になっても使えるものが増えている。また、学童人口が減少傾向にあり、数量が見込めない中、周辺商品（多目的ラック、書棚など）で一人当たりの単価を上げる工夫がなされている。全国的には名古屋地区が8月末から9月初旬に品揃えが始まり、10月中旬には各社とも各店舗に陳列される予定である。単価的にはほぼ昨年と同様であるが、資材高騰により一部メーカーは材料を変更して価格を昨年並みに維持している。

卸売業

●卸売業（総合）

協同組合広島総合卸センター

円高基調が継続、景況感も低下してきている。

最低賃金が今年も上昇。被雇用者のための政策が、度を越せば雇用意欲や事業継続意欲の減退になるとの意見もある。

「資材関連」においては、中国地方全体において、売上高・営業利益共に増加傾向にあり、概ね順調に推移している。5月の住宅着工戸数は、9.8%増加。LED照明・HEMS・蓄電池・セキュリティ関連商材に注力している。

「食品」においては、外食向けは、対前年比マイナスで推移している。

「繊維」においては、婦人下着は、気温の上昇や台風の少なさが追い風となり、夏物肌着は順調に推移した。例年に比べ、完売品が多く、値引き販売が無かった分、粗利も改善した。しかし、慎重な生産計画が裏目となり、売れるのに在庫が無い状態となり、販売機会の逸失があった。

「雑貨」においては、中国の爆買いも一巡し、生活雑貨の7月の売上は弱含みで推移した。

●卸売業（電設資材）

広島県電設資材卸業協同組合

広島県の住宅着工数の1月～5月は、毎月順調に伸びている。特に5月は68%増加と大きな伸びとなっており、今後の動きに期待したい。

戸建住宅においてZEH（ネット・ゼロ・エネルギーハウス）実現に向け、太陽光設備、蓄電池設備、高機能型空調機器等の採用が進み、我々の業界としては、HEMS（ホームエネルギーマネジメントシステム）と共に提案活動に努めていかなければならない。

●卸売業（家具）

リビズ株式会社

7月に加盟店が1店舗閉店した。

●卸売業（畳・敷物）

広島県藁製品商業協同組合

国内の藁草は6月下旬から7月中旬にかけて、刈取りシーズンで、今年は品質もよく、草丈も長く、順調に生育して刈取りを迎えている。畳表の製織は、収穫時期のため、特別に急ぐ注文のみ対応している状況である。

新草による製織は、収穫から1ヶ月以上経過して色合いが落ち着いて織り始めるようであり、盆過ぎから本格的な製織となる見込みである。

一方、中国産では生産調整をしながら製織、出荷と見ている。新草での製織は、10月から11月頃で、古物の藁草を製織しながら必要に応じて新・古物の製織両方出荷となる見込みである。

価格は国産、中国産共に未定である。需給バランスにより決まってくるが、今年は平年並みの見込みである。

小売業

●各種商品小売業

チューリップチェーン商業協同組合

7月の売上は、前年より減少したが、前月より増加した。今年2月に主力組合員が1社店舗を閉鎖され、外販のみの継続となり、売上が大幅に減少した。しかし、新規の得意先が増加したことで、前月より売上は増加した。

今年の梅雨は雨量が例年より多かったことで、来店客数は大幅に減少した。そのため、夜店やプレミアム商品券の発行などのイベントを企画し来店客数は増加し、売上も伸びたが、一時的なものであり、全体の数字を押し上げるまでの効果はなかった。

協同組合三次ショッピングセンター

前年売上に届かない要因として、大型ドラッグストアが2店舗出店したことと、昨年2度実施された三次プレミアム付商品券の販売がないことが理由として考えられる。

プレミアム付商品券は11月に販売が決まっているため、下半期は若干の売上増が期待できる。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

7月度の販売実績は前年同月比3.7%増加となった。商品別では、薄型テレビ前年同月比1.7%減少、BDレコーダー同13.5%増加、音響・車載機器同1.7%減少、冷蔵庫同1.2%増加、洗濯機1.3%減少、エアコン同10.6%増加、エコキュート同2.1%増加、IHクッキングヒーター同4.6%減少となった。

商店街

●商店街（各種商品小売業）

呉本通商店街振興組合

衣料品店での夏期セール効果により、売上が前月比微増している。

空き店舗の再利用に関して、7月に美容院の新規開店があった。また、近隣地区の郵便局が本通地区への移転を検討されているとの情報がある。

23日に、呉中央地区の複数の商店街の土曜夜市イベントが初めて同時に開催され、パンフレットやうちわなどの共同作成を行った。8月にも開催を予定している。

商店街まちづくり事業を活用し、アーケード照明のLED化を実施したことで、20時以降の歩行者通行量が10%増加した。

サービス業

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

車検台数は前月比11.8%減少、前年同月比変化なし。車検場収入は前月比11.5%減少、前年同月比2.0%増加。重量税・登録印紙の売上は前月比8.2%減少、前年同月比1.2%の増加となっている。

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

一部の大型店舗によるリニューアルがあり、全体を押し上げているが、低調である。今後の予測としては、横ばい傾向である。

建設業

●工事業

福山地区電気工事業協同組合

7月における工事受注件数は、前月比12.3%減少、前年同月比9.9%減少となった。

広島県室内装飾事業協同組合

7月の売上については、前月比25%減少、前年同月比5%減少となった。

前月比で見ると敷物工事は27%減少、壁装工事は37%減少と大きく減少した。

前年同月比では、敷物工事が25%減少と大きな落ち込みであるが、カーテン工事は7%増加となった。

7月の累計では、敷物工事が6%減少、壁装工事が3%減少と前年割れであるが、全体では前年比2%減少で推移している。施行工事においては、地域間格差と事業者間格差が大きい。

工事物件全体では、技能労働者が不足しており、高齢化と後継者不足が大きな課題である。

神辺建設業協同組合

建設資材の公共単価がやや実勢価格に近づいた感もあり、やや発注価格は好転している。引き続き適正価格での発注が望まれる。

●運輸業道路貨物運送業

広島輸送ターミナル協同組合

燃料価格が落ち着きを見せてきた。8月の価格を注視している。

松永地区トラック事業協同組合

荷主企業である製造業、建設業関係が落ち込んだ影響で、7月の貨物輸送量は前年同月比大幅に減少した。トラック運賃についても依然として適正運賃の収受ができない状態が続いており、今はとにかく我慢して景気が上向いてくれれば新たな物流が生まれ、運賃の上昇に繋がってくると期待している。

松永地区の運送業者は元々地場の特産品（畳表、家具、材木等）を輸送している業者が多かったが、生活スタイルが和から洋へ変わり、特産品の生産や製造をやめていく生産者や事業者が増え、やむなく運送業を廃業したり、縮小して別の活路を見出し、運送業を継続しているところもある。

軽油価格は小幅で上下動しており、先行きは不安ではあるが、肝心の荷動きがいまいちであり、今後の動向を心配している。

広島県ロジネット協同組合

7月の荷動きは、昨年同様の動きで13日前後がピークのまま月末まで活発な動きを維持するという7月特有の動きとなった。鉄鋼関連、紙関連もよく動いており、飲料関連も例年どおりの動きを見せていた。しかし、運転手の確保には苦慮している。

軽油価格は1円～2円/L程度の値下げとなり、大幅な値下げにはならなかった。しかし、先行き不透明感は強く、まだまだ落ち着く状況にはないようである。

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

船員の高年齢化が進み、船員不足である。若年船員が育たない。

運賃、用船料の改善が見られない。

その他

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

前月比、前年同月比ともに変化はない。

不動産市場は、広島市を中心とした県西部都市圏の地価は、上昇傾向にあるが、県東部、北部地域は一部で上昇も見られるものの、依然として下落傾向にある。特に、過疎化傾向にある山間部、島しょ部は下落率が高い。